

令和6年1月11日

長与町議会議長 安藤 克彦

## 研修報告書

長与町議会議員研修要綱第7条第2項の規定により、次のとおり公表します。

1. 研修名（主催者） 令和5年度市町村議会議員研修[3日間コース]  
「1年目議員のために」  
全国市町村国際文化研修所(JIAM)
2. 研修日時 令和5年7月18日～20日（3日間）
3. 研修場所 全国市町村国際文化研修所（滋賀県大津市）
4. 研修目的 議員の資質向上および議会の活性化に資するため
5. 研修参加者 堀 真 議員
6. 所見（成果）

7月18日	開校式・開講オリエンテーション 地方自治制度と地方議会 静岡県立大学経営情報学部 教授 小西 敦 氏
7月19日	議会と議員 議員の身分と職責 議会活動について（意見交換・質疑） 全国市議会議長会企画議事部 法制主幹 本橋 謙治 氏
7月20日	地方議会の活性化と議員の役割 大正大学社会共生学部公共政策学科 教授 江藤 俊昭 氏 明治大学政治経済学部 教授 牛山 久仁彦 氏

講義の内容は、今年改正されました地方自治法の改正に関する説明と議会について。それから、ランダムにグループ分けされた班でグループディスカッションを行いました。

参加された議員の話を聞くと、その議員の自治体は人口が4,000人で、人口を増やす良い施策（方法論）が議会で全く出せず、また、高齢化していて具体的な町おこしが体力的に難儀するということでした。言葉を選んだつもりですが、この話を聞いて、長与はまだ町とし

て恵まれていると強く認識しました。

講師の方から、「たった10年で廃れた町もあるし、逆に10年で人口を伸ばして栄えた自治体がある。10年をどう認識するか。」と、恵まれているから今はまだ安泰と考えるのではなく、常に先進的な考えをもって行動していくことが大事だと教わりました。大きな都市部より先に小さな地方のほうがIT先進地区になれている事例もあるので、より利便性・効率性を意識して常にアンテナを張って活動に臨んでいきます。

同じ目的であっても、地域によって町民との距離感・イベントなどの方法論が激しく異なりました。似た人口分布はあれど、みな違っていて、長与は特に特殊な街だと客観視することができました。自分の街だからひいきしているわけではなく、本当に町と自然のバランスが良く住みやすい街だと感じました。自分の故郷の良さを思い出させてくれる、そしてたくさんの方の議員とご縁のできた濃い3日間でした。ありがとうございました。